

川崎幸病院

血管フォーラム盛大に

430人が来場

社会医療法人財団川崎幸病院主催の市民公開講座『かわさき幸・血管フォーラム』下肢静脈瘤と最新の治療法が5月17日、市産業振興会館で行われ、約430人が訪れた。

同講座では、40代後半の



女性に多くの発症例がみられるという下肢静脈瘤について、専門医がプロジェクトを使い、事例を交えながら解説。特別講演には、血管外科で静脈疾患の治療を中心に活躍しているお茶

水血管外科クリニックの広川雅之院長が登壇。今行われているレーザーを使った治療法やその後の経過状態、リスクの有無等について語った。最後に行われた質問コーナーでは、保険が適用された場合、費用はどのくらいかかるかや、合併

症はあるか、などの質問が寄せられ、広川院長が丁寧に受け答えしていた。

川崎区から参加した67歳の女性は「昔から足のむくみが気になっていたので、すぐのために。予防法なども知れたので実践していきたい。これからもこうした健康講座を利用していきたい」と話した。

下肢静脈瘤は同財団グループの病院の川崎クリニックや川崎幸クリニックでも受診できるという。

同講座は、川崎幸病院が市民に健康維持・増進、疾患の早期発見・早期治療に役立ててもらうため、毎月行っているかわさき健康塾の一環。その他にも様々な健康講座を開催している。